

【令和7年応用地質技術実践講座】

第1回 座学 令和7年7月17日（木）～7月18日（金）

会場：八千代エンジニアリング(株) 東京

講義内容・タイムスケジュール：

タイムスケジュール		講義内容	講 師
1日目（7月17日 13:00 集合）			
13:00～13:10	0.2h	講座の開催にあたって	大石 朗 ^{※1} (八千代エンジニアリング(株)) 下村 博之 部会長 ^{※2} (株)パスコ
13:10～13:20	0.2h	オリエンテーション	安藤 伸 幹事 ^{※2} (応用地質(株))
13:20～15:20	2.0h	自然災害の地形・地質の知識	上野 将司 顧問 ^{※2} (応用地質(株))
15:20～15:30	0.2h	休憩	—
15:30～16:30	1.0h	災害復旧の考え方と災害時の初動調査	安藤 伸 幹事 ^{※2} (応用地質(株))
16:30～16:40	0.2h	休憩	—
16:40～18:00	1.7h	自然災害の類型化と「やや不自然な自然災害」	高見 智之 委員 ^{※2} (国際航業(株))
2日目（7月18日 9:00 集合）			
9:00～10:30	1.5h	ドローンと踏査による災害調査例	佐藤 昌人 幹事 ^{※2} (国研)防災科学技術研究所)
10:30～10:40	0.2h	休憩	—
10:40～12:10	1.5h	石碑から読み解く自然災害	橋本 修一 委員 ^{※2} (株)東北開発コンサルタント)
12:10～13:10	1.0h	休憩	—
13:10～13:40	0.5h	自然災害伝承碑調査票について	千田 敬二 副部会長 ^{※2} (株)八州)
13:40～14:20	0.7h	現場実習ガイダンス	稲垣 秀輝 顧問 ^{※2} (株)環境地質)
14:20～14:30	0.2h	休憩	—
14:30～16:00	1.5h	ハザードマップの作り方と減災のためのアウトリーチ	松澤 真 幹事 ^{※2} (京都大学防災研究所)

※1：フィールドの達人企画委員会 ※2：応用地質学会 災害地質研究部会

